

トラスツズマブ+XP療法を受けられる方へ

科 ID:

様

担当薬剤師

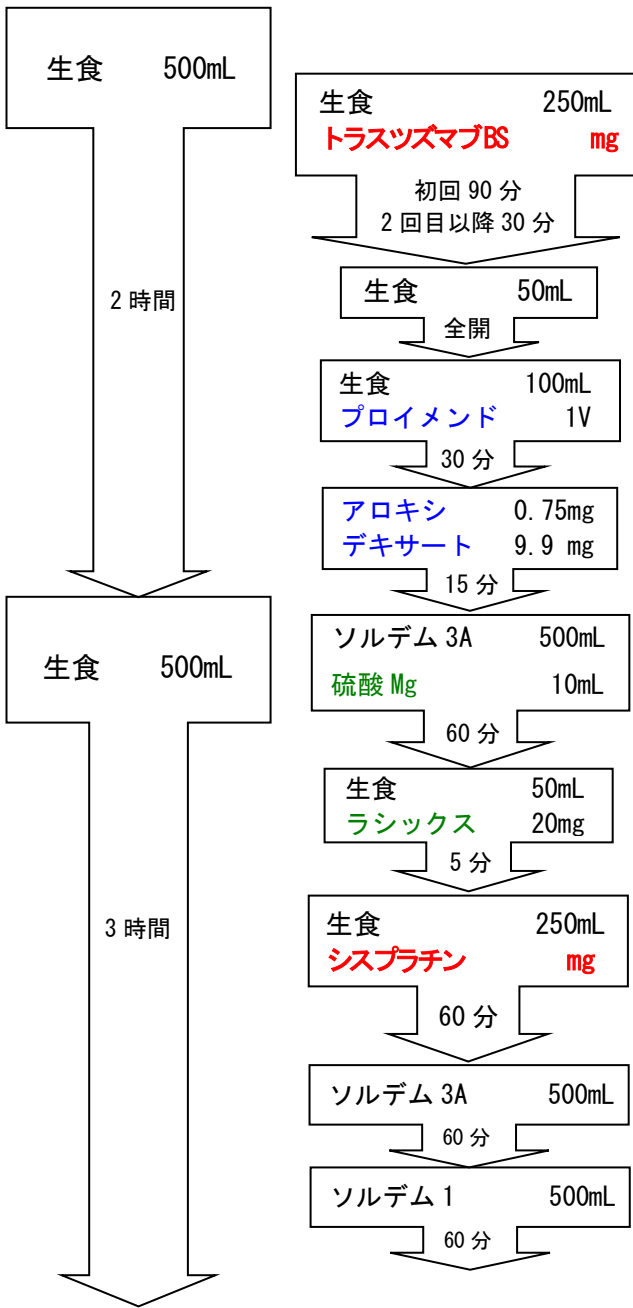
【投与スケジュール】

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16～21 日目
カペシタビン	タ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	朝	
シスプラチン	○															
トラスツズマブBS	○															

☆3週間ごとに繰り返し投与します。

☆検査の結果によりスケジュールや投与量が変わることがあります。

【点滴内容】



生食 50mL
デキサート 6.6mg
ポララミン 1A
ガスター 1A

15 分

生食 50mL

全開

トラスツズマブ初回投与時のみ、
トラスツズマブの前に投与



プロイメンド：吐き気を抑える薬です。

アロキシ：吐き気を抑える薬です。

デキサート：吐き気やアレルギー症状を
抑える薬です。

ポララミン：アレルギー症状を抑える薬です。

ガスター：アレルギー症状を抑える薬です。
胃酸を抑える働きもあります。

硫酸 Mg：腎臓を保護する薬です。

ラシックス：尿を出し、抗がん剤による
腎障害を防ぐ薬です。

トラスツズマブBS } がん細胞の増殖を抑える薬です。
シスプラチン }

※トラスツズマブ BS はハーセプチンのバイオシミラーです。
バイオシミラーについては別紙を参照してください。

【内服薬について】

カペシタビン錠 300：がん細胞の増殖を抑える薬です。

1日2回 朝夕食後 1回 _____錠

2週間内服し1週間休薬



注意) 必ず指示された期間だけ内服しましょう！

飲めなかった薬は病院に持ってきてきましょう。

【主な副作用と対策】

インフュージョン・リアクション：トラスツズマブの点滴を始めてから、発熱・悪寒・吐き気・頭痛・疼痛・痒み・発疹・咳・胸の重苦しさなどのアレルギーに似た症状が起こることがあります。違和感があるようでしたら知らせてください。

アナフィラキシー様症状：お薬を投与することで、アレルギーに似た症状が発現することがあります。息がしにくい、胸が締め付けられる、といった症状がある場合にはすぐに知らせてください。

血管外漏出：針の刺入部の皮膚が赤くなる・腫れる・痛い・熱っぽい・かゆみが出るなどの症状が現れる場合があります。異常を感じたらすぐに知らせてください。

白血球減少：投与後7～14日頃に最も減少するといわれています。白血球が少なくなると、病原菌に対する体の抵抗力が弱くなり、風邪などの感染症を起こしやすくなりますので、うがい・手洗い・マスクといった感染予防を心がけましょう。



赤血球減少：血液の赤い成分が減少することで、めまいやふらつき、疲れやすくなるといった副作用が起こることがあります。十分な休息をとりましょう。

血小板減少：投与後7～21日頃に最も減少するといわれています。原因不明のあざ・鼻血・歯茎からの出血・頭痛などが起こることがあります。出血しやすくなりますので、怪我や転倒には注意してください。

食欲不振、悪心・嘔吐：カペシタビン内服中、点滴投与後～7日間程度に現れることがあります。あらかじめ吐き気止めを投与しています。他の吐き気止めもありますので辛い時は申し出てください。また食事はにょいの少ないもの・冷たいもの・食べられるものを少しずつ摂取するようにしましょう。



脱毛：脱毛が起こることがあります(10%程度)。投与後14～21日経つと抜け始めます。治療終了後6ヶ月ほどで生えそろってきます。

下痢：排便回数が増えたり、下痢になったりすることがあります。

下痢をしている間は脱水にならないように水分摂取をしましょう。

症状によっては下痢止めを使用することがあります。

また、1日に4回以上の下痢（水様便・泥状便）や血の混じった便が出るときには連絡してください。



便秘：水分を摂取したり、お腹のマッサージをしましょう。下剤や便を軟らかくする薬も使います。

口内炎：食後に歯磨きをするなど、口の中は清潔に保っておきましょう。

味覚障害：食べ物の味が変わって感じる場合があります。治療が終了すれば徐々に治ります。



手足症候群：手足がヒリヒリ・チクチクする、赤く腫れる、皮膚にひび割れや水疱ができ、痛みが生じる事があります。

刺激の少ないハンドクリームや保湿剤を使用し、

手足の乾燥を防ぎましょう。

塗り薬が処方されている場合には、指示通りに使用してください。



色素沈着・爪の変形：皮膚や爪の色が着色したり、爪が変形してしまうことがあります。

長い時間直射日光にあたらないようにしましょう。

治療が終了すれば徐々に元に戻ります。

しゃっくり：しゃっくりが出ることがあります。ひどく続いて辛いときにはお薬を使うこともありますので、相談してください。

難聴・耳鳴り：高音域の声や音が聞こえにくかったり、耳鳴りがすることがあります。悪化していきようでしたらお知らせください。

末梢神経障害：手足がしびれたり、痛みがでることがあります。ボタンがかけにくい・字が書きにくいといった症状が出てくるようでしたらお知らせください。

発疹：皮膚が赤くなったり、かゆみが出ることがあります。

ひどい場合には知らせてください。



腎・肝機能障害：薬の影響で腎臓や肝臓に影響が出る場合があります。

心障害：薬の影響で心臓に負担がかかることがあります。



間質性肺炎：非常に稀ですが、薬の影響で肺炎が起こることがあります。

咳・発熱・息切れといった症状が続くようでしたらお知らせください。



★点滴をした翌日・翌々日には水分（水・白湯・お茶など）を1日1L以上摂りましょう。



【その他の内服薬について】

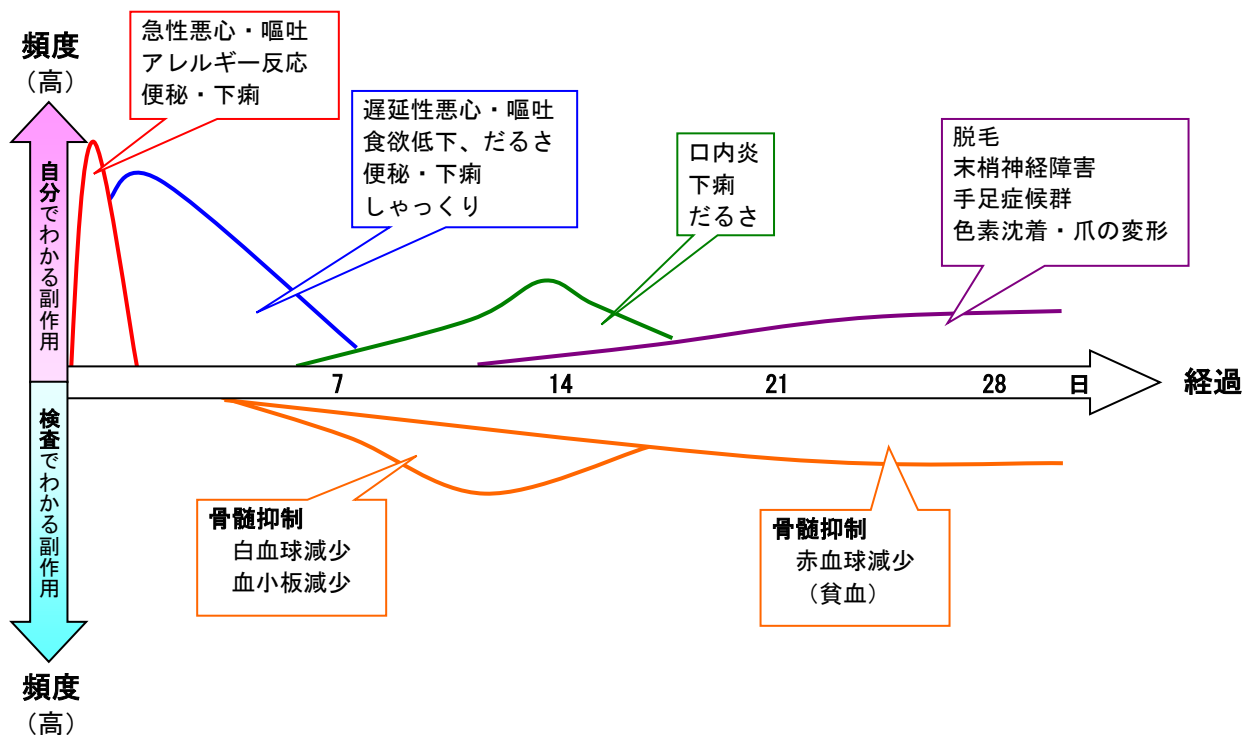
*** この治療を受けられる方には、吐き気止めとして内服薬が処方されます。**

□ デカドロン錠4mg : 1日2回 1回1錠 朝・昼食後

シスプラチンを投与した翌日から3日間内服
吐き気止めです。



主な副作用の発現時期と程度のイメージ



【日常生活で注意していただきたいこと】

- ① 抗がん薬は投与後しばらくの間、尿や便に残ります。抗がん薬投与後2日間(48時間)は、トイレのふたを閉めて水を2回流しましょう。男性の方は尿の飛び散りを防ぐために座って排尿しましょう。
- ② ご家族が吐物や排泄物を処理する場合には必ず手袋をしましょう。
汚染したゴミはビニール袋に入れて口元をしっかりと閉じてから廃棄してください。
- ③ 経口抗がん薬の内服はできる限り患者さん自身で行いましょう。
経口抗がん薬を素手で触った後には、内服後すぐに石けんと流水で手を洗いましょう。



副作用の全てが現れるわけではありません。

また、これら以外の副作用が現れる場合もあります。

気になる症状がありましたら必ず医師・薬剤師・看護師にご相談ください。

この説明書はかかりつけ医やかかりつけ薬局薬剤師にもお見せください。



お薬に関する相談先

北信総合病院 (代表)0269-22-2151
薬剤部 医薬品情報管理室 内線 2530

